

第6回委員会 追加資料について

1 助産施設利用状況について

(人)

	H28	H29	H30	H31
青葉病院	24	28	17	19
海浜病院	18	15	23	23
合計	42	43	40	42

(助産施設)

保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により、入院助産を受けることができない場合において、助産施設に入所して出産して頂くための施設

2 職員の配置について

助産師に限らず、すべての職員は千葉市職員として採用しており、配属先については病院内に限らず、定期的に2病院間の異動も行っている。

3 感染症拡大に伴う医療提供体制について

感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症に対し、青葉病院では発生当初より検査及び入院患者の受け入れ体制を整備している。感染患者の増加にともない、青葉病院では成人患者の受入体制の拡大を行うとともに、海浜病院では重症小児患者の受け入れ体制の整備を進めている。

新病院においては、今回の感染拡大への対応を参考に、陰圧設備を備えた専用の病室や、一般患者との動線を区分して診療できるような施設配置を行うなど、感染症患者にも適切に対応できるよう検討していく。

4 災害医療について

千葉市立両病院は、災害発生時における診療機能の維持、多数の傷病者の受け入れ体制の確保等を条件とした災害拠点病院の指定を受けており、新病院でも災害医療の強化に努めていく。

参考：災害拠点病院に義務付けられている機能等（一部抜粋）

- ・ 傷病者の受け入れ拠点になること。また、定期的な訓練を実施すること。
- ・ 地域の医療機関への支援を行うための体制を整えておくこと。
- ・ 自家発電機等を保有し、3日分程度の燃料を確保しておくこと。
- ・ 災害時の診療に必要な水を確保できること。
- ・ 救命医療を行うための診療設備、多数発生時用簡易ベッドを確保しておくこと。
- ・ 食料、飲料水、医薬品等について、3日分程度を備蓄しておくこと。

5 新病院の収支の考え方について

医師の確保により診療科の充実を図り、診療単価をあげていくことが必要と考えている。また、費用の削減も含めた様々な取り組みも継続して行うことにより医業収支の改善を図っていく。(資料1-2 自治体病院の経営状況)